

**平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和元年 12 月

海老名市立東柏ヶ谷小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1) 教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年 4 月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
- ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
- ・目的に応じて、質問を工夫する
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 設問にある文章の文脈や質問の意図を読み取り、適切な答えを選択肢の中から選ぶことができます。
- 記録や報告の文章、図鑑や辞典などを読むときは、目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことができます。

◆課題のある点

- これまで学習した漢字を、同音異義語に気をつけて適切に使用することに課題があります。
- 自分の考えを文章で記述したり、接続詞を適切に用いて表現したりすることに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 読書活動のさらなる充実に加え、読んだ本の要旨を発表したり、文章を書いたりする活動を増やしていきます。
- 昨年度に引き続き、学習した漢字を活用する機会を増やしていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・台形について理解している
- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
- ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
- ・資料の特徴や傾向に関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
- ・示された除法の式の意味を理解している
- ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

○図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶことができます。

○減法の計算では、工夫して簡単に計算する方法を理解し、与えられた式の計算に適用することができます。

◆課題のある点

○わる数とわられる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないという除法に関して成り立つ性質を、言葉を用いて記述することに課題があります。

○1あたり量を求める問題場面で、除法の式の意味を読み取ることに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

○振り返りの時間を大切にし、学習したことを自分でまとめていくことができるよう取り組んでいきます。

○立てた式や数値の意味を説明したり、友だちの考えと比較したりする活動を通して、式の意味を読み取ったり、計算の工夫を考えたりすることができるよう取り組んでいきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 算数の学習では、問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないかを考えたり内容を理解しようとしていたりする意識が、全国平均を上回っています。算数の学習に対して意欲的に取り組んでいることがわかります。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると答えている児童が全国平均を大幅に上回っています。

◆本校の課題と思われるところ

- 話し合い活動や発表する場面で、自分の考えや意見を伝えることが苦手と感じている児童が多くみられます。
- 「授業で学んだことを他の学習や普段の生活にいかしていますか」の質問では、全国平均を下回っており、学習と生活が結びついていないことが伺えます。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「人の役に立つ人間になりたい」の回答率が高く、多くの児童が社会に貢献したいと思っていることがわかります。
- 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と答えた児童が全国平均を上回っており、成功体験を感じている児童が多いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 読書時間が全国平均を下回っています。朝読書の時間だけではなく本に触れる時間を作る必要性を感じます。
- 地域への行事参加率や外国のことについてもっと知ってみたいと思っている児童が、全国平均を大幅に下回っていることがわかります。

今後の具体的な取組について

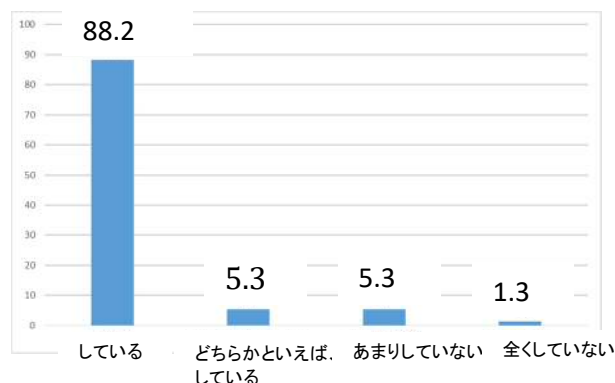
- 主体的な学びを行っていくために、コンピュータやタブレットなどの ICT を活用した視覚に訴える授業の充実を図ります。
- 語彙力や表現力を身につけるためにも、今後も読書活動の充実を図っていきます。
- 本校の特色である地域との連携を大切に、学校・家庭・地域がひびきあい、ともに子どもの成長を支えていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

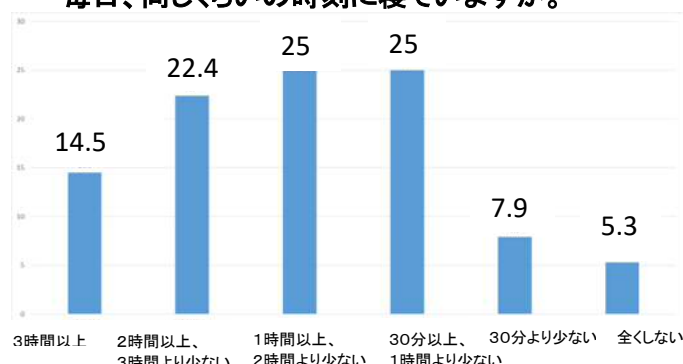
平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 決まった時刻に寝ましょう。

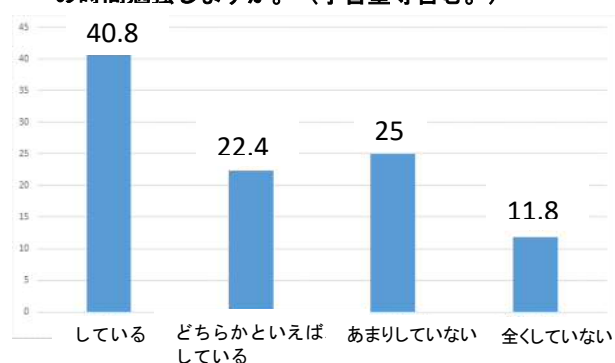
就寝時刻を決め、睡眠時間を十分にとりましょう。朝すっきりと目覚められるようにしてください。



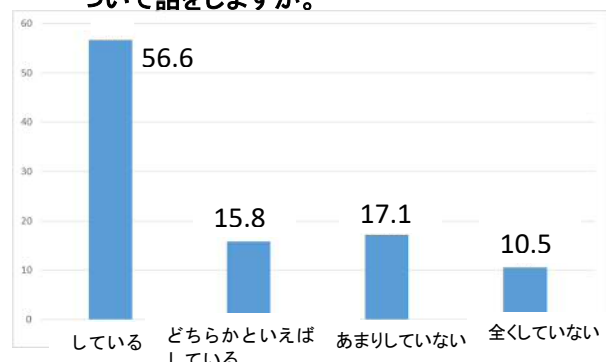
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



学校の授業時間以外に、普段1日あたりどれくらいの時間勉強しますか。(学習塾等含む。)



家の人(兄弟・姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。



将来の夢や目標をもっていますか。

2 家庭での学習習慣をつけましょう。

学習時間の目安は、10分×学年です。子どもたちに学習の習慣が身につくように見守ってください。

3 家庭でのコミュニケーションづくりを大切にしましょう。

家庭でのコミュニケーションは必要不可欠です。学校の出来事について話す時間をつくりましょう。

4 できるようになったことや、やさしい心が見えたらほめましょう。

自分のよさがわかったり、自信をもったりすることで、様々なことが飛躍的に伸びていきます。

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。
全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様により市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

